

報道各位



FAX送信枚数 枚(この用紙を含む)

2020年第52回全国高等学校選抜ホッケー大会の公式試合記録および各試合戦評をお知らせいたします。

 どうぞよろしくお願いいたします。

第52回実行委員会事務局 川崎重工ホッケースタジアム内	本件に関するお問合せ先 第52回実行委員会事務局 連絡者氏名 長尾美和 TEL 090-8547-4754
------------------------------------	--

2020年第52回全国高等学校選抜ホッケー大会

開催日時 12 月 23 日 (水) 会場 川崎重工ホッケースタジアム Aピッチ 天候 晴れ

【全試合結果】

第1試合 9:30~

東濃実業	0	$\begin{pmatrix} 0 & - & 0 \\ 0 & - & 0 \\ 0 & - & 1 \\ 0 & - & 2 \end{pmatrix}$	3	西京
------	---	--	---	----

第2試合 11:10~

玖珠美山	0	$\begin{pmatrix} 0 & - & 0 \\ 0 & - & 1 \\ 0 & - & 0 \\ 0 & - & 0 \end{pmatrix}$	1	築館
------	---	--	---	----

第3試合 12:50~

阿南光	0	$\begin{pmatrix} 0 & - & 1 \\ 0 & - & 1 \\ 0 & - & 2 \\ 0 & - & 2 \end{pmatrix}$	6	飯能南
-----	---	--	---	-----

第4試合 14:30~

伊吹	6	$\begin{pmatrix} 0 & - & 0 \\ 2 & - & 0 \\ 4 & - & 0 \\ 0 & - & 0 \end{pmatrix}$	0	川薩清修館
----	---	--	---	-------

【各試合の結果・詳細】

第1試合

$$\text{東濃実業} \quad 0 \quad \begin{pmatrix} 0 & - & 0 \\ 0 & - & 0 \\ 0 & - & 1 \\ 0 & - & 2 \end{pmatrix} \quad 3 \quad \text{西京}$$

得点	<東濃実業>		
	<西京> 42分 #5山本、48分 #6加藤、52分 #9今井		
戦評	<p>岐阜県立東農実業高等学校のセンターパスにより第1Qが開始された。山口県立西京高等学校#9今井が、何度もドリブルでサークルインを狙うも得点には至らない。</p> <p>第2Q、西京高校のペースで試合が進み#5山本、#16正木を中心に、巧みなドリブルで攻撃を仕掛けるも、東農実業高校の堅い守備に阻まれる。29分西京高校がPCを取得するも、ヒットシュートは枠を捉えることが出来ず、0-0のまま前半を終える。</p> <p>第3Q39分、西京高校が立て続けにチャンスを作るが、東農実業高校GK#1大中が好セーブを見せ得点を許さない。その後も、西京高校が連続攻撃を仕掛け、42分GKのリバウンドを#16正木がシュートし、待望の先制点を挙げる。</p> <p>第4Q、追加点が欲しい西京高校は、立ち上がりから勢いのある攻撃を見せる。一方、東農実業は粘りのある守備で得点を許さない。48分西京高校#6加藤がダイレクトシュートで追加点を挙げる。52分#9今井が前線でボールを奪い自らサークルへ持ち込み、冷静にプッシュシュートを決め3-0と東農実業を引き離す。そのまま試合が終了し、3-0で山口県立西京高等学校が勝利し、2回戦へ駒を進めた。</p>		
テクニカルオフィサー	森 義彦	アンパイア	佐竹 由加里
ジャッジ	浅野・大田・梶田		橋本 千恵

第2試合

$$\text{玖珠美山} \quad 0 \quad \begin{pmatrix} 0 & - & 0 \\ 0 & - & 1 \\ 0 & - & 0 \\ 0 & - & 0 \end{pmatrix} \quad 1 \quad \text{築館}$$

得点	<玖珠美山>		
	<築館> 22分 #5藤原瑞		
戦評	<p>宮城県築館高等学校のセンターパスにより第1Qが開始された。開始早々から、築館高校が激しい攻撃を繰り広げる。1分、5分にPCを取得するも、大分県玖珠美山高等学校の堅い守備で得点には至らない。一進一退の攻防が続くも、両者無得点で第1Qが終了。</p> <p>第2Q、築館高校#5藤原瑞がドリブルで持ち込み、ヒットシュートを決め1-0とする。追いつきたい玖珠美山高校は24分#5高田のセントリングから、絶好のチャンスを作るも得点を決めることが出来ない。このまま、築館高校が1-0でリードし、前半が終了。</p> <p>第3Q、築館高校はパスとドリブルを使い分けながら攻撃を仕掛ける。一方、玖珠美山高校も果敢にサークルに侵入し、35分PCを取得するも相手DFに阻まれ、得点には至らない。</p> <p>第4Q、築館高校#2中山、#11石川を中心に攻撃を仕掛けるも、玖珠美山高校の粘り強い守備で、チャンスを決めることが出来ない。得点が欲しい玖珠美山高校は52分#6山内がドリブルからサークルインするが、得点を決めることが出来ない。このまま試合終了し、1-0で宮城県築館高等学校が勝利し2回戦に駒を進めた。</p>		
テクニカルオフィサー	富山 喜正	アンパイア	相馬 千恵子
ジャッジ	石井・要石・中村		富田 紗矢

第3試合

$$\text{阿南光 } 0 \begin{pmatrix} 0 & -1 \\ 0 & -1 \\ 0 & -2 \\ 0 & -2 \end{pmatrix} 6 \text{ 飯能南}$$

得点	<阿南光>		
	<飯能南> 10分 #15栗原、30分 #11関口、38分 #2丸山、43分 #5古關、47分 #16菊池、60分 #5		
戦評	<p>徳島県阿南光高等学校のセンターパスにより第1Qが開始された。両者激しい攻防が続中、埼玉県立飯能南高等学校#11関口がシュートを放つも、阿南光高校#1澤田の好セーブにより、得点を許さない。飯能南高校#16菊池が右から回り込み、#15栗原にパスが繋がり、落ち着いてシュートを決め、1-0とする。終了間際、阿南光高校が立て続けにPCを取得するも得点には至らず、第1Qが終了する。</p> <p>第2Q、得点が欲しい阿南光高校が果敢に攻め込むも、飯能南高校の堅い守備により、得点を許さない。対する飯能南高校は、30分#11関口がリバウンドを押し込み、2-0とリードを広げ、前半が終了。</p> <p>第3Q、38分飯能南高校がPCを取得し、#2丸山がドランクシュートを決め3-0とする。43分#5古關がリバースヒットを決め4-0とする。</p> <p>第4Q、47分飯能南高校#5古關のパスを#16菊池がタッチシュートを決め追加点を挙げる。試合終了間際、飯能南がPCを取得し、#5古關が豪快なリバースシュートを決め、6-0で試合が終了。埼玉県立飯能南高等学校が勝利し、2回戦に駒を進めた。</p>		
テクニカルオフィサー ジャッジ	森 義彦 浅野・大田・松原	アンパイア	氏家 健太 森田 慎

第4試合

$$\text{伊吹 } 6 \begin{pmatrix} 0 & -0 \\ 2 & -0 \\ 4 & -0 \\ 0 & -0 \end{pmatrix} 0 \text{ 川薩清修館}$$

得点	<伊吹> 19分 #16山堀、28分 #8室谷、34分 #9森、36分 #6高木、39分 #18山中、45分 #2大塚		
	<川薩清修館>		
戦評	<p>滋賀県立伊吹高等学校のセンターパスにより第1Qが開始された。開始早々から伊吹高校のペースで試合が進む。4分伊吹高校がPCを取得し、#6高木がドランクシュートを放つも、鹿児島県立川薩清修館高等学校GK#1福山の好セーブにより、得点には至らない。対する川薩清修館高校も果敢に攻め込み、8分PCを取得するも、得点を決めることが出来ず、両者無得点のまま第1Q終了。</p> <p>第2Q、19分伊吹高校#5渡辺がドリブルでサークルへ侵入し、#16山堀がタッチシュートを決め1-0とする。川薩清修館高校も積極的に前線へボールを運び、チャンスを作るが得点することが出来ない。28分伊吹高校#8室谷がドリブルでサークルへ侵入し、豪快なヒットシュートを決め、2-0とリードを広げ、前半が終了。</p> <p>第3Q、得点が欲しい川薩清修館高校は#10富田を中心に果敢に攻め込むがチャンスを作る事が出来ない。勢いに乗る伊吹高校は34分#5渡辺からのパスを#9森がタッチシュートを決め3-0とする。続く、36分伊吹高校#6高木がリバウンドを押し込み、4-0。39分PCのリバウンドを#18山中が決め5-0。45分伊吹高校#2大塚がリバースシュートを決め、6-0とリードを広げ、第3Qが終了。</p> <p>第4Q、川薩清修館高校は#8上原を中心に攻撃を仕掛けるが、伊吹高校の守備を崩すことが出来ない。57分、川薩清修館高校がPCを取得するも、枠を捉えられない。このまま試合終了し、6-0で滋賀県立伊吹高等学校が勝利し、2回戦へ駒を進めた。</p>		
テクニカルオフィサー ジャッジ	富山 喜山 石井・要石・松原	アンパイア	藤原 信幸 為国 壮

一般社団法人ホッケージャパンリーグ

開催日時 12 月 23 日 (水) 会場 川崎重工ホッケースタジアム Bピッチ 天候 晴れ

【全試合結果】

第1試合 9:30~

伊吹	4	$\begin{pmatrix} 1 & -0 \\ 2 & -0 \\ 1 & -1 \\ 0 & -1 \end{pmatrix}$	2	巨摩
----	---	--	---	----

第2試合 11:10~

立命館	9	$\begin{pmatrix} 3 & -0 \\ 1 & -0 \\ 2 & -1 \\ 3 & -0 \end{pmatrix}$	1	名古屋商業
-----	---	--	---	-------

第3試合 12:50~

沼宮内	9	$\begin{pmatrix} 0 & -0 \\ 3 & -0 \\ 3 & -0 \\ 3 & -0 \end{pmatrix}$	0	御殿場西
		1 SO 3		

第4試合 14:30~

山梨学院	0	$\begin{pmatrix} 0 & -2 \\ 0 & -0 \\ 0 & -0 \\ 0 & -1 \end{pmatrix}$	3	丹生
------	---	--	---	----

【各試合の結果・詳細】

第1試合

伊吹	4	$\begin{pmatrix} 1 & -0 \\ 2 & -0 \\ 1 & -1 \\ 0 & -1 \end{pmatrix}$	2	巨摩
----	---	--	---	----

得点	<伊吹>12分#2片山、29分#10内貴、30分#3堀川、37分#11前神 <巨摩>38分#10樋泉、50分#8齊藤		
戦評	滋賀県立伊吹高等学校のセンターパスにより第1Qが開始された。3分伊吹高校がレフトサイドから回り込みチャンスを作るが、巨摩高校のGK#1柴田に阻まれる。5分伊吹高校がPCを取得するも山梨県立巨摩高等学校が守り切る。10分再び伊吹高校がPCを取得し、#2片山がリバウンドを押し込み先制する。14分伊吹高校がPCを取得するも、得点にはならず1-0で終了。 第2Q、開始早々巨摩高校がPCを取得し、#4古瀬がシュートを放つも、伊吹高校#3堀川がセーブされる。17分伊吹高校がPCを取得するも#11前神のヒットは枠を捉えることができない。反撃にでたい巨摩高校だが、伊吹高校の固い守備に阻まれる。28分伊吹高校が#17高木のパスを#10内貴が合わせ2-0とする。30分伊吹高校がPCを取得し#3堀川の強烈なシュートが決まり3-0で前半が終了。 第3Q、得点が欲しい巨摩高校は前線からプレスをかけ反撃を狙うも、なかなかチャンスを作ることができない。35分伊吹高校がPCを取得し#11前神がヒットシュートを決め、4-0と巨摩高校をさらに引き離す。37分巨摩高校はロングボールが繋がリ#10樋泉がリバースヒットを決め、4-1で終了。 第4Q、巨摩高校は積極的に攻撃を仕掛け、混戦から#8齊藤が押し込み4-2とする。52分巨摩高校はPCを取得し追加点のチャンスを得るも、伊吹高校#5村居のファインセーブにより阻まれる。伊吹高校は得意のスピードのあるドリブルから反撃のチャンスを作るも、巨摩高校の粘り強い守備で得点には至らず、4-2で滋賀県立伊吹高等学校が勝利し、2回戦に駒を進めた。		
テクニカルオフィサー ジャッジ	高島 匡代 辻・田中	アンパイア	福山 秀人 久米 世大

一般社団法人ホッケージャパンリーグ

第2試合

$$\text{立命館 } 9 \begin{pmatrix} 3 & - & 0 \\ 1 & - & 0 \\ 2 & - & 1 \\ 3 & - & 0 \end{pmatrix} 1 \text{ 名古屋商業}$$

得点	<立命館> 7分#2上野、11分#6藤木、15分・38分#14鳴田、19分#9片岡、31分#15日下、52分#5西村、56分・60分#11安立		
	<名古屋商業>41分#9中橋		
戦評	<p>名古屋市立名古屋商業高等学校のセンターパスにより第1Qが開始された。7分立命館高等学校がPCを取得し#2上野が落ち着いてドランクシュートを決め1-0とする。11分立命館高校#7岸がサークル内に打ち込み、#6藤木がタッチシュートを決め2-0と名古屋商業高校を引き離す。12分立命館高校がPCを取得するも、名古屋商業高校#8具志堅がセーブし、得点を許さない。15分立命館高校#14鳴田が混戦から押し込み3-0で終了。</p> <p>第2Q、19分立命館高校は#5西村の回り込みを#9片岡が合わせ4-0に引き離す。名古屋商業高校は、#10栗木を中心にロングボールを狙うも、チャンスを作ることができない。立命館高校はプレスからボールを奪いチャンスを作るが、名古屋商業高校GK#1武藤の好セーブで追加点を許さず、前半が終了。</p> <p>第3Q、31分立命館高校#15日下がタッチシュートで追加点を挙げる。38分立命館高校がPCを取得し、#14鳴田の強烈なヒットシュートが決まり6-0とする。41分名古屋商業高校はバスをつなぎ、最後は#6鈴木が押し込み6-1とする。</p> <p>第4Q、52分立命館高校#2上野のリバースシュートのリバウンドを#5西村が流し込み、7-1とする。猛攻を仕掛ける立命館高校に対し、名古屋商業高校GK#1武藤を中心に粘り強い守備を見せる。56分、60分と立て続けに立命館#11安立が得点し、9-1で立命館高等学校が勝利し、2回戦に駒を進めた。</p>		
テクニカルオフィサー	竹内 芳郎	アンパイア	ケビンデムスター
ジャッジ	上村・古川		森川 大

第3試合

$$\text{沼宮内 } 9 \begin{pmatrix} 0 & - & 0 \\ 3 & - & 0 \\ 3 & - & 0 \\ 3 & - & 0 \end{pmatrix} 0 \text{ 御殿場西}$$

得点	<沼宮内>17分・26分・37分・42分・48分#8千葉翔、22分#3佐藤宇、35分#2佐藤瑠、51分#10岩館、60分#17澤口		
	<御殿場西>		
戦評	<p>御殿場西高等学校のセンターパスにより第1Qが開始された。開始早々、御殿場西高校#7吉本のドリブルからPCを取得するも得点には至らない。4分岩手県立沼宮内高等学校がPCを取得するも、御殿場西高校GK#1湯山の好セーブにより得点を許さない。お互いシュートチャンスを作るも、得点には至らないまま第1Qが終了。</p> <p>第2Q、17分沼宮内高校はショートバスで攻撃を組み立て、#8千葉翔がタッチシュートを決め、先制点を挙げる。22分沼宮内高校がPCを取得し#3佐藤宇がリバウンドを確実に決め2-0とする。26分沼宮内高校#8千葉翔がプレスからボールを奪い、3点目を決める。反撃に出たい御殿場西も#7吉本、#10杉山雄を中心に攻撃を仕掛けるも決定的なチャンスを作ることができないまま前半が終了。</p> <p>第3Q、勢いが止まらない沼宮内高校は34分、35分と立て続けにPCを取得し、#2佐藤瑠がドランクシュートを決め、4-0とする。対する御殿場西高校は#10杉山雄がドリブルで攻め込みPCを取得するも、得点には至らない。37分、42分沼宮内高校#8千葉翔が立て続けに得点し、6-0とする。45分御殿場西高校がPCを取得するも、沼宮内高校GK#1下平の好セーブにより得点を挙げる事が出来ないまま第3Qが終了。</p> <p>第4Q、46分沼宮内高校がPCを取得し、連続してシュートを放つも、御殿場西高校GK#1湯山の好セーブにより得点には至らない。沼宮内高校、48分#8千葉翔、51分#10岩館、60分#17澤口が得点を重ね、9-0で試合が終了。岩手県立沼宮内高校が勝利し、2回戦に駒を進めた。</p>		
テクニカルオフィサー	高島 匡代	アンパイア	加藤 拓馬
ジャッジ	辻・田中		山崎 直樹

第4試合

山梨学院 0 $\begin{pmatrix} 0 & -2 \\ 0 & -0 \\ 0 & -0 \\ 0 & -1 \end{pmatrix}$ 3 丹生

得点	<山梨学院>		
	<丹生>2分#10吉田有、14分#6奥本、60分#13山岸		
戦評	<p>福井県立丹生高等学校のセンターパスにより第1Qが開始された。2分丹生高校#10吉田有がリバーススイープで得点し、先制点を挙げる。9分丹生高校がPCを取得するも山梨学院高等学校GK#1櫻井の好セーブにより得点には至らない。14分丹生高校がPCを取得し#6奥本がドラックシュートを決め、2-0とする。15分山梨学院高校がPCを取得するも、得点にはならず、第1Qが終了。</p> <p>第2Q、立て続けに丹生高校が攻撃を仕掛けるもチャンスを決めきることが出来ない。1点が欲しい山梨学院高校も#8川村を中心に相手陣地に攻め込むも丹生高校の堅い守備により得点に繋げることが出来ないまま前半が終了。</p> <p>第3Q、開始早々山梨学院高校がPCを獲得するも、丹生高校の堅い守備により得点には至らない。その後も果敢に相手陣地に攻め込み、40分にPCを取得するが、丹生高校GK#1石田の好セーブにより得点することが出来ない。両者無得点のまま第3Qが終了。</p> <p>第4Q、攻撃の手を緩めない丹生高校は46分PCを取得するが追加点を挙げる事は出来ない。得点が欲しい、山梨学院高校もパワープレーを使い、55分PCを取得するも得点に繋げる事は出来ない。60分丹生高校#13山岸が追加点を挙げ、3-0とリードを広げる。そのまま試合が終了し、福井県立丹生高等学校が勝利し、2回戦に駒を進めた。</p>		
テクニカルオフィサー	竹内 芳郎	アンパイア	西山 宏明
ジャッジ	上村・古川		黒川 大地

開催日時 12 月 23 日 (水) 会場 川崎重工ホッケースタジアム Cピッチ 天候 晴れ

【全試合結果】

第1試合 9:30~

今市	1	$\begin{pmatrix} 0 & -0 \\ 0 & -0 \\ 0 & -0 \\ 1 & -0 \end{pmatrix}$	0	横田
----	---	--	---	----

第2試合 11:10~

不来方	3	$\begin{pmatrix} 1 & -0 \\ 1 & -0 \\ 0 & -0 \\ 1 & -0 \end{pmatrix}$	0	岐阜総合学園
-----	---	--	---	--------

第3試合 12:50~

香川中央	0	$\begin{pmatrix} 0 & -0 \\ 0 & -0 \\ 0 & -1 \\ 0 & -2 \end{pmatrix}$	3	須知
------	---	--	---	----

第4試合 14:30~

松山中央	0	$\begin{pmatrix} 0 & -0 \\ 0 & -2 \\ 0 & -1 \\ 0 & -0 \end{pmatrix}$	3	川薩清修館
------	---	--	---	-------

【各試合の結果・詳細】

第1試合

$$\text{今市 } 1 \begin{pmatrix} 0 & - & 0 \\ 0 & - & 0 \\ 0 & - & 0 \\ 1 & - & 0 \end{pmatrix} 0 \text{ 横田}$$

得点	<今市> 48分 #7 磯		
	<横田>		
戦評	<p>栃木県立今市高等学校のセンターパスで第1Qが開始された。開始4分今市高校がPCを取得するも島根県立横田高等学校GK#13吉田のセーブにより得点には至らない。流れをつかんだ今市高校は立て続けにシュートを放つも横田高校の堅い守備に阻まれる。対する横田高校もロングボールからチャンスを作ろうとするもサークルインをすることが出来ない。11分今市高校#6鈴木がドリブルで攻め込むも横田高校の厚いDFに阻まれ得点には至らない。両者共に得点を許さず、第1Qが終了。</p> <p>第2Q、開始早々今市高校#9村山がリバースヒットを打つが得点には至らない。横田高校は17分カウンターからPCを取得し#6石原がヒットを放つも、今市高校のDFに阻止されチャンスを活かすことが出来ない。続く21分横田高校#4長谷川がシュートを放つも決めることができず、得点は動かぬまま前半戦が終了。</p> <p>第3Q、先にチャンスを迎えたのは横田高校。34分#6石原がフリーでリバースシュートを放つも今市高校GK#1齋藤の好セーブで得点には至らない。その後、37分今市高校は3本目のPCを取得するも、これも決めきることが出来ず、両者互角の戦いが続き、第3Qが終了。</p> <p>第4Q先制点を挙げたい両者。試合が動いたのは48分。今市高校#7磯が流れてきたボールを冷静に押し込み待望の先制点を挙げる。得点が欲しい横田高校は、最後まで粘り強い守備から攻撃へと繋げるもゴールネットを揺らすことが出来ず、1-0で栃木県立今市高等学校が勝利し、2回戦に駒を進めた。</p>		
テクニカルオフィサー	中野 典子	アンパイア	高橋 英行
ジャッジ	花部、西脇		大和田 康一

第2試合

$$\text{不来方 } 3 \begin{pmatrix} 1 & - & 0 \\ 1 & - & 0 \\ 0 & - & 0 \\ 1 & - & 0 \end{pmatrix} 0 \text{ 岐阜総合学園}$$

得点	<不来方> 1分、25分、54分 #8 澤口		
	<岐阜総合学園>		
戦評	<p>岩手県立不来方高等学校のセンターパスにより第1Qが開始された。開始早々、不来方高校#8澤口がドリブルから強烈なヒットシュートを決め先制点を挙げる。対する岐阜県立岐阜総合学園高等学校はチャンスを作ることが出来ず、1-0で終了。</p> <p>第2Q、17分岐阜総合学園高校#2篠田が左から攻め上がり、ゴール前にボールを打ち込むもチャンスを作る事が出来ない。対する不来方高校は、24分#8澤口がゴール前のボールを押し込み追加点を挙げる。不来方高校が優位で試合を進め、2-0で前半が終了。</p> <p>第3Q、不来方高校は#8澤口のドリブルからゴール前に攻め込むも、得点には至らない。1点を返したい岐阜総合学園高校は果敢にサークルインを狙うも、不来方高校の堅い守備に阻まれチャンスを作ることが出来ない。不来方高校のリードで第3Qが終了。</p> <p>第4Q、開始早々不来方高校がドリブル突破からチャンスを作るも岐阜総合学園高校の堅い守備により追加点を奪えない。52分PCを取得した不来方高校は#4三上がヒットを放ち、岐阜総合学園高校GK#1磯野がセーブするも、こぼれ球を不来方高校#8澤口が決め3-0と突き放す。そのまま試合が終了し、岩手県立不来方高等学校が3-0で勝利し2回戦へ駒を進めた。</p>		
テクニカルオフィサー	齊藤 恵子	アンパイア	坪坂智佳
ジャッジ	堀江、花部		山田恵美

第3試合

$$\text{香川中央} \quad 0 \begin{pmatrix} 0 & - & 0 \\ 0 & - & 0 \\ 0 & - & 1 \\ 0 & - & 2 \end{pmatrix} \quad 3 \quad \text{須知}$$

得点	<香川中央>		
	<須知>36分 #9北村、52分 #10徳岡、60分 #2山下天		
戦評	<p>香川県立香川中央高等学校のセンターパスにより、第1Qが開始された。開始早々から京都府立須知高等学校が攻撃を仕掛け、10分 #9北村がリバースシュートを放つも香川中央高校GK #1入谷の好セーブに阻まれる。一方、香川中央高校もサークル内へボールを繋ぐが得点には至らない。</p> <p>第2Q、須知高校が立て続けにPCを取得するも香川中央高校が得点を許さない。一進一退の攻防が続くが、両者無得点のまま前半が終了。</p> <p>第3Q、36分須知高校 #6藤田が巧みなドリブルでサークル内に切り込み、PCを取得。#9北村が落ち着いてリバウンドを決め、待望の先制点を挙げる。得点が欲しい香川中央高校は #3長尾のロングボールから前線を狙うも決定的なチャンスを作り出せない。追加点を狙う須知高校はPCを取得するが、香川中央高校 #9稲村の堅い守備に阻まれる。</p> <p>第4Q、須知高校は52分PCを取得すると、#10徳岡が強烈なヒットシュートを決め追加点を挙げる。一方、香川中央高校は相手のミスからチャンスを作りPCを取得するも得点を奪うことができない。試合終了間際の60分、須知高校 #4小原からのパスを受けた #2山下天がリバースヒットを決め、3-0で試合が終了。京都府立須知高等学校が勝利し、2回戦へ駒を進めた。</p>		
テクニカルオフィサー ジャッジ	中野 典子 堀江、西脇	アンパイア	鷺尾 尚子 深田 未梨美

第4試合

$$\text{松山中央} \quad 0 \begin{pmatrix} 0 & - & 0 \\ 0 & - & 2 \\ 0 & - & 1 \\ 0 & - & 0 \end{pmatrix} \quad 3 \quad \text{川薩清修館}$$

得点	<松山中央>		
	<川薩清修館>20分 #14河口、21分・44分 #4竹下		
戦評	<p>鹿児島県立川薩清修館高等学校のセンターパスにより、第1Qが開始された。9分川薩清修館高校 #4竹下へボールが繋がリシュートを放つも枠を捉えることが出来ない。勢いに乗る川薩清修館高校は、中盤から積極的にドリブルでサークルへ侵入するが得点には至らない。</p> <p>第2Q、川薩清修館高校は20分 #14河口が落ち着いてリバウンドを決めて先制点を挙げる。続く21分 #4竹下がヒットシュートを決め、2-0とする。得点が欲しい香川県立松山中央高等学校は攻撃のチャンスを作り、#5福住がPCを取得するも得点することが出来ない。その後、川薩清修館高校が連続して攻撃を仕掛けるが、松山中央高校GK #1玉井朱を中心に集中した守備を見せ、2-0のまま前半を終える。</p> <p>第3Q、松山中央高校は #5福住を中心に攻撃を仕掛け続けるが川薩清修館高校の堅い守備に阻まれる。一方、川薩清修館高校は44分 #5塚田からのパスを受けた #4竹下がゴール右隅にシュートを決め、3-0とリードを広げる。</p> <p>第4Q、反撃したい松山中央高校はPCを取得するがチャンスを活かすことが出来ない。その後も一進一退の攻防が続くが、3-0のまま試合が終了。鹿児島県立川薩清修館高校が勝利し、2回戦に駒を進めた。</p>		
テクニカルオフィサー ジャッジ	齊藤 恵子 花部、堀江	アンパイア	大和田 康一 松田 啓太

開催日時 12月23日(水) 会場 岐阜各務野高校グラウンド 天候 晴れ

【全試合結果】

第1試合 9:30~

北海学園札幌	0	$\begin{pmatrix} 0 & -0 \\ 0 & -1 \\ 0 & -0 \\ 0 & -2 \end{pmatrix}$	3	玖珠美山
--------	---	--	---	------

第2試合 11:10~

立命館	1	$\begin{pmatrix} 0 & -0 \\ 1 & -0 \\ 0 & -0 \\ 0 & -0 \end{pmatrix}$	0	慶應義塾
-----	---	--	---	------

第3試合 12:50~

伊予	1	$\begin{pmatrix} 0 & -1 \\ 0 & -0 \\ 0 & -2 \\ 1 & -0 \end{pmatrix}$	3	須知
----	---	--	---	----

第4試合 14:30~

高松東	1	$\begin{pmatrix} 1 & -2 \\ 0 & -3 \\ 0 & -1 \\ 0 & -0 \end{pmatrix}$	6	置賜農業
-----	---	--	---	------

【各試合の結果・詳細】

第1試合

北海学園札幌	0	$\begin{pmatrix} 0 & -0 \\ 0 & -1 \\ 0 & -0 \\ 0 & -2 \end{pmatrix}$	3	玖珠美山
--------	---	--	---	------

得点	<北海学園札幌>		
	<玖珠美山> 20分・59分 #11西本、56分 #10山崎		
戦評	<p>晴天の中、大分県立玖珠美山高校のセンターパスにより、第1試合が開始された。玖珠美山の攻撃が続く中、開始5分PCを取るが、北海学園札幌高校の#1阿部の好セーブにより得点を許さない。玖珠美山が立て続けにシュートを打つが、北海学園のGKを基に堅い守備を見せ、第1Qは0-0のまま終了した。第2Q 5分、玖珠美山#11西本が右サイドからボールを貰い、ヒットシュートが決まり先制点を取る。その後、北海学園がカウンターで攻めサークルに侵入するものの、DF陣の連携により得点まで繋がらない。北海学園もパスで崩しシュートを打つが決まらず、お互い激しい攻防が続く中、前半戦が終わる。第3Q玖珠美山が前線でボールを奪いカウンターでシュートを打つが入らない。北海学園は右サイドからドリブルで攻め、シュートまで行くが枠を捉える事できず、両者の堅い守備により無得点のまま第3Q終了する。第4Qが開始され一進一退の攻防の中、第4Q 11分玖珠美山がPCを獲得し、#10山崎がドリブルで相手をかまし右足にシュートを決める。そのまま玖珠美山が攻め続け、終了間際14分#11西本のヒットシュートが左下に決まり3-0で玖珠美山高校が2回戦進出を決める。</p>		
テクニカルオフィサー	長屋 恭一	アンパイア	小林 哲也
ジャッジ	遠藤、蛭崎		塩井 拓真

第2試合

$$\text{立命館} \ 1 \begin{pmatrix} 0 & -0 \\ 1 & -0 \\ 0 & -0 \\ 0 & -0 \end{pmatrix} \ 0 \ \text{慶應義塾}$$

得点	<立命館>28分#10名井		
	<慶應義塾>		
戦評	<p>慶應義塾高校のセンターパスにより第2試合が開始された。両者激しい攻防が続く中、慶應義塾が第1Q7分にPCを獲得するが、無得点に終わりチャンスを活かせない。両者一步も引かない攻防が続く0-0のまま第1Qが終了する。第2Q4分立命館高校#6瀬島にグリーンカードを科せられる。立命館が第2Q10分にドリブルでサークルに侵入しPCを獲得するが、慶應義塾のDFに阻まれ入らない。第2Q14分立命館#9中田がサイドからドリブルで侵入しパスをしたボールを#10名井がゴールに押し込み、立命館が1-0で先制し、前半戦を終える。第3Q2分慶應義塾がPCを獲得したが、1番騎の好セーブで得点に繋がらない。開始4分立命館#9中田がイエローカード、立て続けに立命館#11松谷にイエローカードが科せられる。両者無得点のまま第3Qを終える。第4Q慶應義塾が左サイドから攻めシュートまで行くが、枠を外れて得点に繋がらない。立命館もドリブルからサークルに侵入するが、慶應義塾のGKの好セーブが続き得点を許さない。お互い一進一退の攻防が続く中、立命館が1点を守りきり1-0で2回戦進出を決める。</p>		
テクニカルオフィサー	鹿野 育郎	アンパイア	尾木 典隆
ジャッジ	鳶木、北川		原田 竜平

第3試合

$$\text{伊予} \ 1 \begin{pmatrix} 0 & -1 \\ 0 & -0 \\ 0 & -2 \\ 1 & -0 \end{pmatrix} \ 3 \ \text{須知}$$

得点	<伊予>54分#2藤田		
	<須知>5分#12西垣、35分#4坂本、40分#11樋口		
戦評	<p>須知高校のセンターパスにより第3試合が開始された。第1Q5分須知高校#8山内が右サイドからドリブルでサークルへ侵入し、折り返しパスを#12西垣がゴールに押し込み、先制点を挙げる。お互い攻めるがシュートまで持ち込めず第1Qが終了する。第2Q3分須知がPCを獲得し、フリックシュートを打つが4番騎の好セーブにより得点が入らない。終了間際、須知がPCを獲得しタッチシュートをするが惜しくも枠を外し前半戦を終了する。第3Q5分須知が右サイドからドリブルで侵入し#4坂本がゴールに押し込み2点目を決める。立て続けに須知が攻撃をするが伊予のGKの守備が堅く得点に繋がらない。第3Q10分須知がPCを獲得し、#11樋口が崩れたプレーからシュートを打ち3点目を決める。伊予も得点のチャンスが増えてきたが、最後決めきれず第3Qが終わる。第4Q両チームゴール前まで攻めるが、GKのファインセーブにより均衡した試合が続く。伊予がショートパスを繋ぎPCを獲得し、8分#2藤田のヒットシュートがゴールに入る。伊予が最後まで攻め続けるが、須知がチーム全員での守備をみせ1-3で須知高校が勝利し、2回戦進出を決める。</p>		
テクニカルオフィサー	長屋 恭一	アンパイア	柳田 敏行
ジャッジ	遠藤、蛸崎		児玉 茂樹

第4試合

$$\text{高松東} \ 1 \begin{pmatrix} 1 & -2 \\ 0 & -3 \\ 0 & -1 \\ 0 & -0 \end{pmatrix} \ 6 \ \text{置賜農業}$$

得点	<高松東>2分#15小西		
	<置賜農業>6分#14鈴木、11分#2小野椋、21分・30分#6小野颯、24分#10市川、39分#8小林		
戦評	<p>置賜農業高校のセンターパスにより第4試合が開始された。第1Q開始2分高松東高校#15小西がリバウンドを拾いシュートを決め先制点を挙げた。その後置賜農業の素早い攻撃から6分#4本間のセンターリングを#14鈴木が押し込み同点に追い付く。さらに置賜農業がドリブルからPCを獲得し、11分#2小野が左サイドネットにゴールを決め1-2で第1Qを終了する。第2Q開始6分置賜農業#6小野のリバースヒットがネットに突き刺さり3点目を決める。その後も、置賜農業が攻め続け8分#10市川がハーフラインからのセンターリングをタッチで合わせて4点目を決める。第2Q終了間際に置賜農業#6小野がリバースヒットで5点目を決め前半戦を終える。第3Q9分置賜農業#8小林がPCからリバースシュートを打ち6点目を決めそのまま第3Qが終わる。第4Q高松東が攻撃するがゴールに繋がらず、1-6で置賜農業が勝利し2回戦進出を決める。</p>		
テクニカルオフィサー	鹿野 育郎	アンパイア	野澤 達
ジャッジ	北川、鳶木		岸 竜平